

東北地方 3か月予報

(4月から6月までの天候見通し)

平成23年3月24日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

4月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

5月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

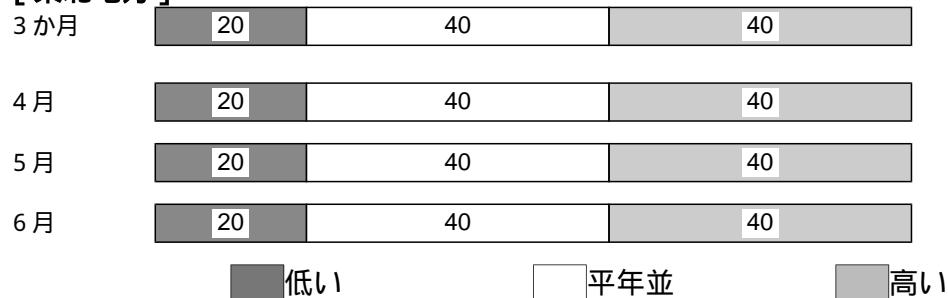
6月 東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

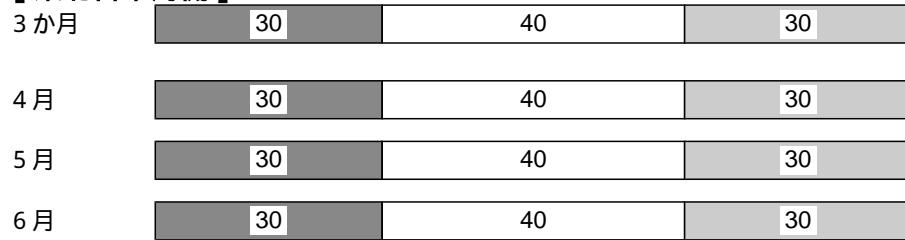
<<気温>>

[東北地方]

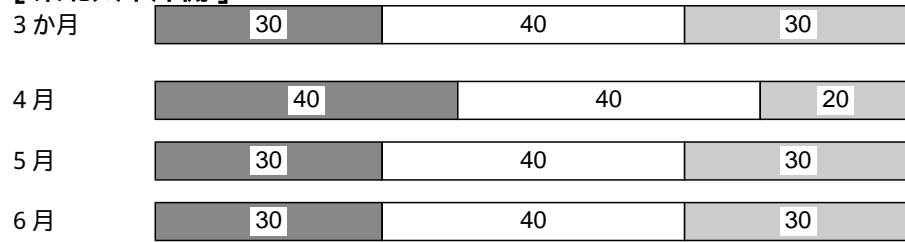


< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

< 次回発表予定等 >

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月25日

3か月予報：4月25日(月) 14時

4月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2月24日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	4月	5月	6月	4月～6月	4月	5月	6月	4月～6月	4月	5月	6月	4月～6月
青森	7.9	13.1	17.0	12.7	60.7	78.8	82.2	221.7	187.3	210.1	180.7	578.1
深浦	8.3	13.0	17.2	12.8	93.3	108.8	109.4	308.6	174.7	197.4	179.6	551.7
むつ	7.2	12.1	15.6	11.7	81.1	92.3	109.0	282.3	193.8	207.7	162.6	564.2
八戸	8.3	13.1	16.1	12.5	58.9	84.7	99.2	242.8	194.3	207.5	168.8	570.7
秋田	9.2	14.2	18.8	14.1	117.6	122.8	127.5	367.9	175.0	191.4	178.0	544.3
盛岡	8.4	13.8	18.2	13.4	93.8	103.3	114.9	312.1	175.1	194.9	151.7	521.8
大船渡	9.0	13.6	17.3	13.3	138.0	149.8	171.5	449.3	176.0	196.3	148.2	520.5
宮古	8.7	13.1	16.0	12.6	96.3	98.4	117.3	311.9	192.3	191.8	140.4	524.4
仙台	10.1	14.9	18.3	14.4	98.1	107.9	137.9	343.9	190.9	198.7	127.9	517.5
石巻	9.2	14.0	17.7	13.6	91.8	98.2	111.6	301.6	192.6	206.5	145.6	544.7
山形	9.8	15.4	19.5	14.9	68.1	81.3	102.6	251.9	180.3	201.9	153.8	535.9
新庄	8.1	14.2	18.7	13.7	98.3	106.6	131.0	332.1	150.2	180.1	152.7	482.4
酒田	9.8	14.9	19.3	14.7	105.5	116.8	128.1	350.4	173.1	198.7	175.9	547.7
福島	11.3	16.5	19.9	15.9	79.5	87.5	118.1	285.1	188.6	198.1	130.1	516.7
若松	9.9	15.5	19.8	15.1	63.4	80.5	115.7	259.6	175.8	197.9	157.9	531.5
白河	9.8	14.8	18.4	14.3	100.5	120.0	167.6	388.0	184.2	188.4	121.9	494.5
小名浜	11.1	15.1	18.3	14.8	128.3	147.0	149.8	425.1	186.1	198.4	138.4	522.9

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	4月	5月	6月	4月～6月
気温平年差()	東北地方	-0.3～+0.5	-0.3～+0.4	-0.6～+0.2	-0.2～+0.2
	東北日本海側	-0.5～+0.6	-0.3～+0.4	-0.5～+0.2	-0.2～+0.2
	東北太平洋側	-0.5～+0.5	-0.3～+0.4	-0.5～+0.2	-0.2～+0.2
降水量平年比(%)	東北地方	89～112	86～115	82～118	94～108
	東北日本海側	90～110	84～110	71～105	92～110
	東北太平洋側	84～113	82～111	88～111	89～112
日照時間平年比(%)	東北地方	94～103	98～105	95～106	97～103
	東北日本海側	92～106	95～104	96～107	97～105
	東北太平洋側	95～102	99～106	90～108	95～103

(3) 接近する台風の平年値

	4月	5月	6月
東北地方	0.0	0.0	0.1

＜参考資料（利用上の注意）＞

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（4～6月）

平成23年3月24日 仙台管区気象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

4～6月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。
4月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、東北日本海側で各階級の確率の偏りは小さく、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。
5月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。
6月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。

2. 暖候期予報の見直しについて

最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2月24日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

3. 数値予報（アンサンブル予報）による海洋と大気の流れの予想

熱帯域の海面水温偏差（右上図）は、東部太平洋赤道域で正偏差となっているが、春にラニーニャ現象が終息に向かう時の夏の同海域の海面水温の予測は特に不確実性が大きいため割り引いて評価する。ラニーニャ現象は春に終息し、夏の太平洋赤道域の海面水温は平常の状態が続く可能性が高いと見る。

一方、フィリピンの東海上では正偏差となっており、期間の前半にこの正偏差は明瞭である。これに対応してフィリピンの東では対流活動が活発で、低気圧性の風が強くなり、日本付近へ流れ込む南からの暖かい空気が平年に比べて弱い傾向となる。南北の温度傾度が小さく低気圧が発達しにくいため、東北太平洋側では4月は多雨になる可能性は小さい。

500hPa高度（右中図）は、北極付近の寒気が大西洋方面に南下しやすく、アリューシャン近海には明瞭な正偏差があって、正偏差はバイカル湖方面に伸びている。日本付近も大きな偏差ではないが正偏差が予想されている。地球温暖化などの影響による近年の高温傾向もあって、東北地方では低温になる可能性は小さい。

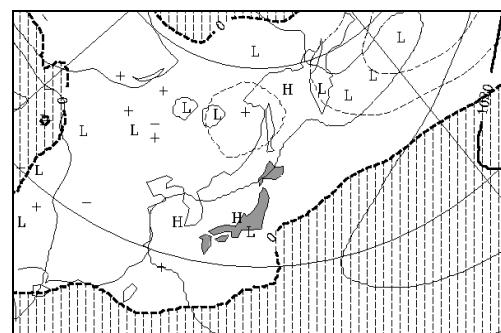
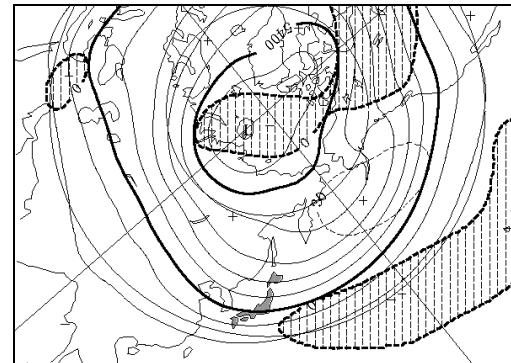
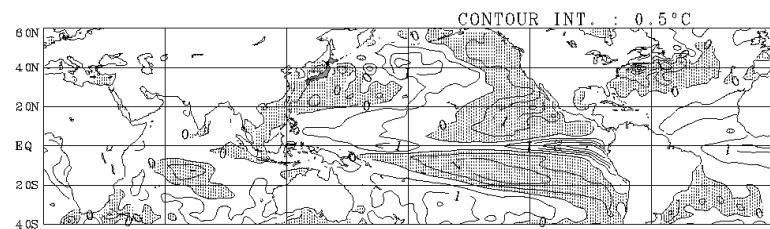
海面気圧（右下図）は、日本付近の等圧線の間隔が広く、4月や5月は低気圧と高気圧が交互に通ると予想される。高気圧は東北地方より南を通る傾向がある。

月別の海面気圧予想図（図略）などからは、

4月：低気圧と高気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わる見込み。東北地方は平年と同様に晴れの日が多いと予想される。

5月：低気圧と高気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わる見込み。東北地方は平年と同様に晴れの日が多いと予想される。

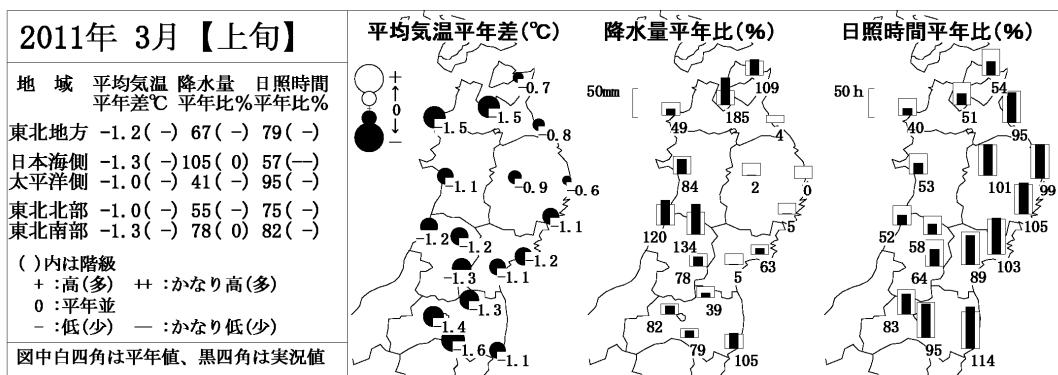
6月：低気圧や前線の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想される。



4. 最近の天候経過

3月上旬：冬型の気圧配置となる日が多く、東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、大雪となった日があった。東北太平洋側では晴れの日が多くかった。

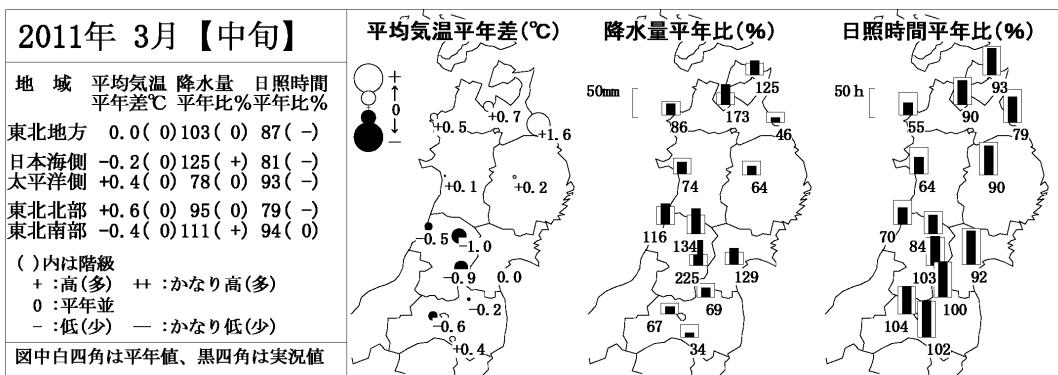
平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。



3月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

3月中旬：日本の南海上を通過する高気圧と気圧の谷が交互に通過し、東北北部では曇りや雪または雨の日が多く、東北南部では天気が周期的に変わった。期間の後半は強い寒気が南下して一時冬型の気圧配置となり、大雪となった日があった。また、寒暖の変動が大きかった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。



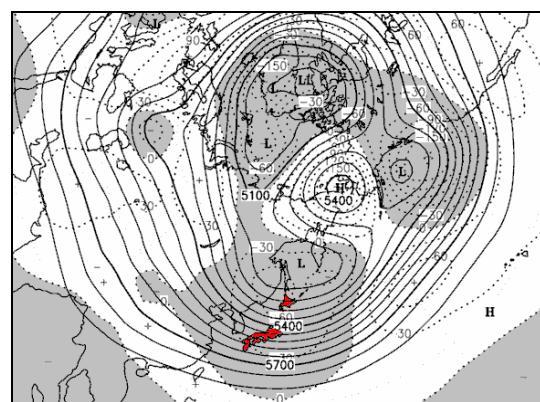
3月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

3月11日に発生した「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の影響により特別地域気象観測所4地点で中旬の統計は欠測となりました。

5. 今月の循環場の特徴

3月（20日まで）：500hPa高度は、ベーリング海にブロッキング高気圧が形成され、日本付近は谷が深まり負偏差となった。いくつかの低気圧がオホーツク海付近で発達し、日本付近には寒気が流れ込みやすく、冬型の気圧配置が強かった。

東北地方は、上旬の中頃、中旬のはじめ、中旬の後半に強い寒気の影響を受けた。また、気温の変動が大きかった。



3月1日～20日の平均500hPa高度
実線は等高度線(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。
陰影部は負偏差。

＜参考資料＞

平年の天気出現日数（日）

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
4月	17.8	9.3	16.8	11.5	17.2	10.6	18.4	8.1	17.3	9.6	18.7	7.5
5月	18.4	9.6	16.9	11.0	17.2	10.1	17.6	8.5	18.0	9.0	17.9	8.0
6月	15.0	8.8	15.3	10.4	12.9	10.0	10.9	11.1	13.0	9.7	11.0	9.9

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。